## 2021年(令和3年)度 森林環境譲与税の使途公表

事業区分	具体的事業	事業費総額(千円)						
			うち当該年 度の森林環 境譲与税 (千円)	うち基金取 崩額(千円)	うちその他の 財源(千円)	事業内容	実 績	主な税導入の効果
森林整備	にし阿波循環型林業支援事業	7,317	7,317	0	0	森林の有する多面的機能の持続的な発揮を維持するための 造林支援	実施面積: 67.16ha	・再造林は森林所有者の負担が大きい が、それを解消するために67.16haの苗
	林地台帳維持更新事業	2,970	2,970	0		所有者からの届出や登記情報の異動、地籍調査等の境界に 係る測量の実施状況の変化などについて、林地台帳及び林 地台帳地図の定期的な情報更新並びに精度向上を行う。	筆数:159,180筆 面積:55,138ha(計画対象森林面積) 新規境界測量データの更新反映:3地区(地 籍調査、明確化、換地)	木・防除施設等の支援を行った。持続 可能な林業、また森林の循環が期待で
	里山森林整備支援事業	100	100	0	0	地域住民自らが森林所有者等に働きかけを行うことにより、 集落内における生活道路に影響を及ぼしている支障木の解 消を図る取り組みについて、その費用の一部を助成する。	1自治会:0.16ha	・林地台帳の情報更新及び精度向上作業や9林業事業体への聞き取り等を行い、森林等の状況を把握し対象森林の抽出から地域の実情等に応じた優先順
	森づくり委員会推進事業	146	146	0	0	森づくり推進に向けた委員会等の運営経費	森づくり委員会2回開催	位を決定した。今後、意向調査並びに 経営管理等を長期的かつ計画的に実 施していく。
	森づくり推進体制支援事業	7,269	7,269	0	0	森林・林業行政を支援する林政アドバイザーを雇用する人件 費など市の実行体制整備	林政アドバイザー2名	・市民の森林整備に対する関心が高まることを期待し、自治会単位で支障木の解消に取り組んでもらい、結果0.16h
木材利用·普及啓発	木育推進事業	4,165	4,165	0	0	木のおもちゃ箱貸出事業 ウッドスタート事業、誕生祝い品贈呈式	木のおもちゃ箱貸出事業:12ヶ所(保育所他) 贈呈式:10家族45名	aが里山森林整備として活用された。
	木材利用促進事業	1,367	1,367	0		四国酒まつり用として地元産材を使った枡や、地元産杉の木のシートを使った木製バックボード等を製作し、広く木材利用の推進を行った。	市産材一合枡:1423個製作	・木育キャラバンの代替事業として、市 内の8保育所、3幼稚園、1児童発達支 援センターへ約1週間ずつおもちゃ箱を 貸し出し、約60種類の木のおもちゃに 触れて遊んでもらった。
	木質バイオマスエネルギー推進事業	902	902	0	0	薪製造コストの再試算から関係者の合意形成を図り、新たな 薪ポイラー利活用等につなげる。		
	割り箸利用等森林環境教育推進事業	1,023	1,023	0	0	学校給食における地域産材の割り箸利用から、使用済み割り箸の木質バイオマスへの利活用を試行実践することにより、森林環境教育を推進する。	割り箸利用:年間約33万膳	おもちゃが完成し、贈呈式を行った。今後、市内の新生児たちにプレゼントしていく。
人材育成	鳥獣害対策事業	2,725	2,725	0	0	林地への鳥獣害被害対策及び地域の担い手育成	鳥獣害対策及び捕獲員1名	・森林環境教育、林福連携の一環として、学校給食において市内の障がい者 支援施設が生産している地域産材の割
	森づくり推進アドバイザー事業	4,389	4,389	0	0	関係事業体、市民への基本計画周知(勉強会、シンポジウムなど)関係事業体へのヒアリング、ワーキンググループへの参画提案などを行うことによって森づくりを推進する。	市内金融機関ヒアリング:8行 ※次年度繰越:2,415千円	り箸を利用してもらった。今後、市内の バイオマス施設等の見学を行い、循環 利用されている仕組み等を学んでもら
	森づくりホームページ制作事業	155	155	0	0	森づくり基本計画の周知をはじめ、森づくり(森林づくり・里山づくり)・森林整備、木育、森林教育イベント活動などの情報 発信する林業関連リーフレットの作成		う。 ・市内金融機関8行へのヒアリングで、
基金積立	三好市森づくり基金	86,929	86,929	0	0	今後の森林整備及びそれを促進するための人材育成・担い 手の確保、木材利用の促進、普及啓発等の費用に充てるための基金		三好市森づくり基本計画の周知、行内の木質化への推進等を行った。
森林環境讓与税額(計:千円)		119,457	119,457					